

# **三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業検証シート**

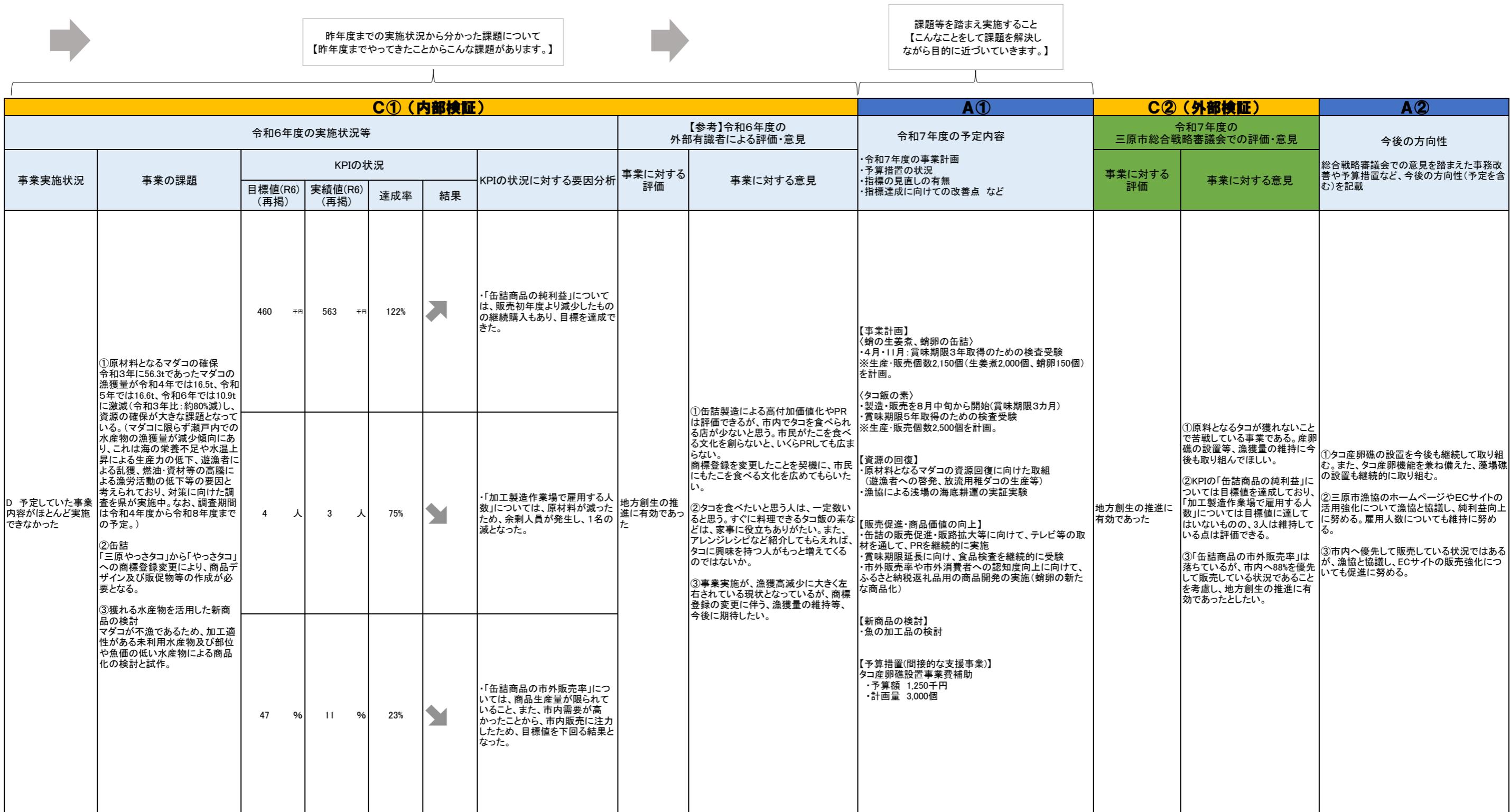
## **【地方創生拠点整備交付金活用事業】**

**水産物6次産業化における缶詰製造施設等整備事業**

## 基本目標1 暮らしやすさを磨く

施策(2) 農業・水産業の担い手が確保され、経営力が向上している

事業名		事業概要		KPI						P 交付金を活用して施設整備した内容 (令和3年度実施内容)		D 令和6年度に実施した内容	
				事業開始前 実績値(R3)	目標値(R3)	目標値(R4)	目標値(R5)	目標値(R6)	目標値(R7)				
水産物6次産業化における缶詰製造施設等整備事業	令和3年度交付金活用事業	●三原市漁協が所有する事務所建物内及び同一敷地内に所有する既存の水産物加工施設内に、缶詰製造のための作業場を新設するとともに、缶詰商品を製造するための機械設備を導入配置し、販売時に必要となる缶詰用ラベルのデザイン作成を行う事業を実施する。  ●缶詰の製造により、これまでの課題であった保管・運搬に冷凍や冷蔵を要するという市内販売施設の課題解決に資するとともに、今まで消費ニーズが低く、低価格での販売や廃棄されていた部位についても商品化が可能となる。  ●缶詰の調理済という手軽さから、新型コロナウィルスの影響で新たな需要となっている内食の受け皿として消費者へアプローチしていくとともに、従来の販売施設に加え、地域商社機能と観光機能を併せ持つ法人である瀬戸・道・港との連携や、新たに立ち上げた漁協ECサイトでの販売により、市外への販路を拡大することで、タコ漁業を稼ぐ産業へと発展させていく。	缶詰商品の純利益	— 千円 0.0	0 千円 1,636	93 千円 902	287 千円 563	460 千円 563	677 千円 677	※以下の整備内容のうち、①の事業費の一部(事業費のうち約31.8%)に交付金を充当。	【事業計画】 (蛸の生姜煮、蛸卵の缶詰) ・4月・11月:賞味期限3年取得のための検査受験 ※生産・販売個数1,400個(生姜煮1,300個、蛸卵100個)の計画に対して2,708個(生姜煮1,934個、蛸卵774個)を販売。  【タコ飯の素】 ・6月～7月:開発及び試作 ・8月:販売開始 ※缶詰開発途中で、水分調整の観点から品質に問題があることが判明。開発方針を転換して、誰でも手軽に本格的なタコ飯が楽しめるレトルト商品とした。  【資源の回復】 ・原材料となるマダコの資源回復に向けた取組(遊漁者へ啓発チラシ配布)  【販売促進・商品価値の向上】 ・缶詰2種(蛸の生姜煮、蛸卵)の販売促進・販路拡大等に向けて、テレビ等の取材を通じて、PRを継続的に実施 ・賞味期限延長に向け、食品検査を継続的に受験 ・市外販売率や市外消費者への認知度向上に向けて、ふるさと納税返礼品用の商品開発の実施(蛸卵の新たな商品化)  【新商品の検討】 ・未実施  【ブランド】 ・「三原 やっさタコ」の商標登録が令和6年2月で期限切れになることから、新たに「やっさタコ」として令和5年12月に商標登録を申請。 名称から「三原」を取ることで、三原市産のみではなく、瀬戸内海産マダコ取り扱い、漁獲量の確保を図る。  【決算状況(間接的な支援事業)】 タコ産卵礁設置事業費補助 ・予算額 1,250千円 ・計画量 3,000個	0	
		缶詰商品の市外販売率	— % 0.0	0.0 % 24.0	45.0 % 25.0	46.0 % 11.0	47.0 % 48.0						



# **三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業検証シート**

## **【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】**

**市民のスポーツ実施率向上事業**

### 基本目標3 魅力とファンを創る

施策(1) 「三原ならでは」の魅力的なコンテンツが整っており、市を訪れる人が周遊・滞在している

事業内容の説明  
【こんな事業です。】

令和6年度に実施した内容について  
【昨年度はこんなことをしました。】

P

D

事業名	事業概要	KPI						令和6年度に実施を予定していた内容	令和6年度に実施した内容	
		事業開始前	目標値(R5)	目標値(R6)	目標値(R7)	目標値(R8)	目標値(R9)		R6決算額(千円)	総事業費
			実績値(R5)	実績値(R6)	実績値(R7)	実績値(R8)	実績値(R9)			交付金充当額
市民のスポーツ実施率向上事業	<p>生涯スポーツイベント(自転車活用事業@佐木島、スポーツのテーマパーク)への参加を通じて「これからも継続してスポーツに取り組みたい」と感じた参加者の割合</p> <p>・本市では、全国平均と比べて、市民のスポーツ実施率が低い現状がある。(1年間「ほぼスポーツをしない人の割合(H28):全国27.2%→三原市37.6%)</p> <p>・そのため、新たなスポーツ大会やスポーツイベントを開催し、子どもから大人までの幅広い世代に対してスポーツに関わるきっかけを提供することで、スポーツ実施率の向上を図り、市民が健康で心豊かな生活を送ることができるまちをめざす。</p> <p>【主な事業】 次の事業を実施することにより、スポーツを「みる」「する」機会を提供し、楽しさに触れることで、スポーツ実施率の向上を図り、健康で豊かな生活に寄与する。</p> <p>1 自転車活用事業@佐木島 ※幅広な世代向け 佐木島におけるプロからアマチュアまでを対象とした自転車ロードレースの開催を支援する。 加えて、市公式YouTube等でのレースのプロモーション動画配信や、バーチャルサイクルアプリを活用したサイクリングの疑似体験など、デジタル技術を活用した取組を実施する。</p> <p>2 スポーツのテーマパークリニューアル事業 ※子ども向け 三原市体育協会と連携し、小学生向けに一日で複数の競技が楽しめる体験会を開催することで、スポーツの楽しさを知つてもらい、スポーツを始めるきっかけづくりをしてもらう。 令和4年度にトライアルとして屋内競技のみで実施したところ好評だったため、屋外競技を追加することで、さらなる参加者の拡大を図る。</p>	<p>1 自転車活用事業@佐木島</p> <p>① 佐木島自転車レース運営補助 佐木島ロードレース実行委員会に対して補助金を交付。 【レース概要】 ・開催日 7月27日(土) ・会場 佐木島(1周約10kmの周回コース) ・参加者数 162人(プロ17チーム計88人、アマチュア120人) ・目標観客数 1,500人 ・運営経費の内容:委託費(会場設営費、警備、映像撮影等)、事務費、広告料、ボランティア経費等</p> <p>② 佐木島自転車レース広報 ※新規事業 レース広報及び大会会場での地元団体による魅力的なステージイベントを実施することにより、観客の増加を図る。 【実施内容】 ・三原駅へのカウントダウンボート設置 ・商店街へのバナー設置 ・ステージイベント出演委託</p> <p>③ プロモーション動画配信 佐木島ロードレースのプロモーション動画を制作・配信。 ・配信箇所:市HP、市公式YouTube、大会HP、MCAT、三原駅前及び三原港デジタルサイネージ(やっさだるマン型)</p> <p>2 スポーツのテーマパークinみはら(屋外編) 屋外5種目(軟式野球、陸上、ソフトボール、サッカー、ソフトテニス)の継続開催。 また、チラシを増刷し、各種公共施設や商業施設へ設置する。 ・支出内容:チラシ、スタンプラリー台紙の作成等 参加者数:179人</p>	<p>1 自転車活用事業@佐木島</p> <p>① 佐木島自転車レース運営補助 佐木島ロードレース実行委員会に対して補助金を交付。 【レース概要】 ・開催日 7月27日(土) ・会場 佐木島(1周約10kmの周回コース) ・参加者数 162人(プロ17チーム計88人、アマチュア120人) ・観客数 1,100人 ・運営経費の内容:委託費(会場設営費、警備、映像撮影等)、事務費、広告料、ボランティア経費等</p> <p>② 佐木島自転車レース広報 ※新規事業 レース広報及び大会会場での地元団体による魅力的なステージイベントを実施することにより、観客の増加を図る。 【実施内容】 ・三原駅へのカウントダウンボート設置 ・商店街へのバナー設置 ・ステージイベント出演委託(やっさ、太鼓、チア、ダンス) ・三原駅看板設置</p> <p>③ プロモーション動画配信 佐木島ロードレースのプロモーション動画を制作・配信。 ・配信箇所:市HP、市公式YouTube、大会HP、MCAT、三原駅前及び三原港デジタルサイネージ(やっさだるマン型)</p> <p>2 スポーツのテーマパークinみはら(屋外編) 屋外5種目(軟式野球、陸上、ソフトボール、サッカー、ソフトテニス)の継続開催。 また、チラシを増刷し、各種公共施設や商業施設へ設置する。すぐるやFMみはらでの周知も実施。 ・支出内容:チラシ、スタンプラリー台紙の作成等 参加者数:179人</p>	5,820	2,910					

